

平成29年第3回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	平成29年3月24日（金曜日）午後1時44分から3時50分まで
会議開催の場所	市役所503会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・矢次健志・島村由起男・清水慶育・神山好子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 野村泰平・教育総務課長 鈴木雅広・学校教育課副参事 稲村浩之・学校教育課主幹 駒井実・生涯学習課長 関根俊介・生涯学習課副参事 中平薫
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主査 菊地誠治
傍聴者数	2人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・議案第9号から第14号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 議案第9号 日高市立小・中学校の通学区域の特例に関する要綱の一部を改正する告示
原案どおり可決
- 議案第10号 平成29年度日高市教育行政重点施策の決定について
原案どおり可決
- 議案第11号 日高市社会教育指導員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第12号 日高市スポーツ推進委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第13号 日高市文化財保護審議委員会委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第14号 日高市教育委員会職員の人事について
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
- 2) 教育長の報告の要旨
 - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育委員配付資料：日高市立小・中学校 学校評価関連】

(委員) 平成 28 年度日高市立小・中学校の学校評価報告書の学校自己評価システムシートにおける達成度について、職員と保護者の評価が乖離するのは分かるが、職員の自己評価が 50%~100%と学校間の格差が大きく、実際に差があるのか、自己評価による意識の差であるのか見えない部分がある。高萩北中については、職員が 50%台で評価している中、保護者は 70%台で高く評価している状況である。職員の評価が高く、保護者の評価が低いのは問題だが、このケースは、保護者は評価しているが、職員が逆に低いため、職員の意識として、求めるものを高く設定して、自己評価を下げているのか、教育センターとして、どのような解釈及び評価をしているのか。

(学校教育課副参事) 教育委員会として、評価の達成度の基準を明確にしているわけではなく、あくまでも各学校で設定する基準で自己評価していることを前提として、乖離については、保護者としてある程度で満足できている中で、職員は、まだ伸び率があると判断していると考えている。

(委員) 職員の基準点が高いのか、本当に実施していないのか分析をし、基準点が高く自己評価を低くしているのであれば、保護者の満足度と照らし合わせて評価する必要がある。また、高萩中のみ、職員、保護者のほかに生徒の評価も記載がある。この3者の数字についての因果関係を分析することは、非常に意味があることだと思うが、ほかの学校もこのような形にするべきではないか。

(学校教育課副参事) 学校と教育委員会の話し合いの中では、職員と保護者に絞って評価していただくこととしていたが、高萩中については、設定前に進めていたため、生徒を含めた評価としたところである。

(委員) 生徒も含めた形で進めるべきであると考え。また、A+Bとして割合を出しているが、仮に 50 人職員がいて、1 人が A で 49 人が B でも 100%の評価となってしまう。A と B のそれぞれの割合を把握するため、A+Bではなく、A と B でそれぞれ評価割合の記載を分けるべきである。

(教育長) 各学校では、当然、割合を把握しているが、公表用については、簡略化しているもので作成している。今後、学校との話し合いで研究していきたい。

(委員 2) 評価項目以外の具体的方策、評価指標は、各学校で設定しているのか。

(教育長) 評価項目の 3 つについては、統一している。学力と社会性・人間性と保護者や地域との連携の 3 つである。県は学力と地域の 2 つで実施している。

(委員) 達成度の項目について、この評価と A+B の割合との乖離もあるが、こちらの達成度はどのような内容であるか。また、誰が評価するのか。

(学校教育課副参事) A+B の数字と、数字に表れない部分を含めて、校長が評価している。

(委員) この報告書では、細かい点が分からないため、それぞれ評価することが難しいため、次回、作成する際には、今までの意見を取り入れて、分かりやすい資

料としてほしい。

(委員) 自己評価について、テストの結果が達しているか否かによって、評価しているように読める。教育委員会である程度、評価の基準を設定しないと、学校間で統一性がないため、評価にバラつきが生じていると思われる。ある程度の評価基準の設定をした方が、より良い指標となっていくのではないか。

(委員) 評価一覧で見える場合、ある程度、基準の統一性がないと学校間の比較ができない。

(教育長) 学校ごとに教育目標が違うため、単純な学校間の比較を目的としたものとなっていない。昨年までは、報告書として、学校ごとにバラバラであり、あまりにも見づらいということで、今回は各学校の評価を一体として、報告書としたものである。今回、委員の皆様からいただいた意見について、研究してより良い報告書となるようにしていきたい。

【教育長報告関連】

(委員) 平成 29 年第 1 回議会による一般質問のうち、田中議員による学校における医療的ケアが必要な児童生徒への支援について、どの程度のレベルの医療ケアの話であるか。

(学校教育課副参事) 精神的な内容ではなく、身体的な内容である。

(委員) 図書館の返却ポストについて、通勤する方など、朝忙しい方が少しでも利用しやすいように図書館建物内ではなく、利便性を考慮し、四反田堀沿いの通勤路などの付近に設置出来ないか。また、新たな図書利用者の開拓として、通勤通学など電車内での時間を読書で有効に利用していただくため、利用者に合った本の選定、相談などが出来るコンシェルジュのようなサービスは出来ないか。機会があれば、ぜひ検討してほしい。

(教育部長) 図書館について、まず、相談業務については、今回の委託の中で、司書を 5 名以上配置することとなり、現状よりは良くなると考えている。また、毎月いろいろな展示、催し物などにより、普段、図書館を利用されない方に対して、興味を持ってもらうような取組みも進めているところである。返却方法については、武蔵高萩駅で開始するが、高麗川駅については、現在、東口開設に向け取り組んでいる中で、橋上化など市有スペースが出来れば設置が可能となる。高麗駅については、調整中である。図書館付近への設置については、工夫及び研究させていただきたい。

(委員 2) 図書館業務の貸出場所について、予約した本は公民館でも貸し出すとあるが、予約は図書館にするのか。また、返却についても公民館に返却で良いのか。

(生涯学習課長) そのとおりです。ネット予約なども可能となり、利用公民館については、貸出と返却の公民館が違ってても対応可能となる。

(委員 3) 図書館の蔵書リストは、ホームページなどで全て確認可能か。

(教育部長) 可能である。

【教育長報告：資料 1 関連】

(委員) いじめの防止等のための基本的な方針に基づく会議の中で、いじめ等が解消した成功事例等について、どのような事例があったのか。

(教育長) 今回の会議で事例を検討したわけではなく、会議の中で、いろいろな事例に基づいて協議したほうが有意義ではないかというお話をいただいたものである。

(委員) いじめ問題青少年問題対策連絡協議会において、いじめを生まない土壌を作ることが大切とあるが、一言では言えないと思うが、どのようなことが上がっていたか。

(教育長) 子ども、教職員に対しての人権教育、道徳教育などの実施が重要であるとのことをご意見をいただいている。

(委員 2) いじめを生まない土壌というのは、毎年、児童生徒が入れ替わる中で、何らかのアクションを継続して起こさないと、なかなか難しい。P D C Aではないが、日高方式の確立など継続していくことが大事と考える。

(教育長) 国の人権教育の地域推進事業をやって、児童会生徒会サミットなどいじめ問題を取り上げ、こども達が意見を出し合ったのを学校に持ち帰り話し合うこと、また、ボランティア活動などの人とのふれあいを通して体験することにより直接的ではないが、間接的にいじめはいけないうことであるとの土壌づくりとして、効果はあるのではないかと考えている。継続してやることが大事である。

(委員) 教職員の長期研修志願者について、どのようなことを学ぶために行くのか。

(教育長) 各教科、生徒指導など項目もいろいろあり、学べるものは様々である。この研修に行く場合の代員は、補充される。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第 9 号について 質疑なし

議案第 10 号について

(委員) 教育行政重点施策の「1 児童生徒の学力向上に向けた取り組みの推進」における自宅学習システムについて、インターネットはすべての生徒が利用可能か。

(学校教育課長) 自宅にインターネット環境がないケースについては、学校でタブレットを 20 台用意してある。

(委員) ぜひ、一度でも児童生徒に自宅学習システムについて、使用させる工夫をしてほしい。

(学校教育課副参事) 学校のコンピューター室で一度は体験させている状況である。

(委員) 自宅でやることが重要であるので、学校でやるのは意味がない。

(学校教育課副参事) 保護者に依頼をするなど、さらに利用率をあげる方策を考
えていきたい。

【非公開審議】

議案第 11 号から第 14 号について、非公開議案のため記載せず

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○ 4 月定例会：4 月 26 日（水曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承

○ 5 月定例会：5 月 16 日（火曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承

(2) その他連絡事項

○ 新採用・転入教職員着任式・歓迎会

平成 29 年 4 月 3 日（月曜日）午後 2 時から【生涯学習センター】

○ 平成 29 年度小中学校入学式

平成 29 年 4 月 10 日（月曜日）午前【各小・中学校】

○ 平成 29 年度入間地区教育委員会連合会総会（予定）

平成 29 年 4 月 24 日（月曜日）午後【飯能市】